

工事標識など現場商品を取り扱うゼストシステム(本社・旭川)。顧客が二酸化炭素の削減や循環型社会への貢献を実感できる「植林プロジェクト」を展開して2年目となる。「植林事業貢献」の文字が躍る同社製の看板が普及し始め、

安井文期社長は「ビジネスモードとして浸透してきた」と手応えを感じている。2008年10月で会社創立20周年。記念事業として、こ

とし1月に
は沖縄県で
植林活動を行
い、6月には埼玉県に道外初進出となる関東営業所を開設した。木との絆を足掛かりに、全国展開の第一歩を踏み出した。

同社は企画・デザインを中心こなす安井氏の個人事務所としてスタートした。1990年に法人化すると、いち早くコンピューターを導入

全国視野に事業展開

ゼ
ス
ト
シ
ス
テ
ム

道産間伐材と

わりを深めてい
た。

ポイントがたまると、顧客に代わって植林し証明書を発行する。

「植林プロジェクト」2年目

ゼストシステムの安井文期社長



関東営業所開設に際しては、木への印刷が可能したこと、木へのぬくもりを感じさせる工事現場のイメージ、「百年に一度の不況下に、なぜ」という声もあつた。しかし安井社長は「地価が下がっているので経費が抑制できること」を次々と商品化。環境とデザインを重視した新商品を積極的に開発してきた。木とのふれあいが環境意識を高め、ついに「植林プロジェクト」の成果が全国で実れば、「本州各地で地産地消が可能になる。その拠点を世界の中に進化する。対象商品を購入したりレンタルすること」と見えられる工コ

望を見据えている。